

科目名	パソコンスキル I	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	officeソフト（Word）の基本的な活用方法を学ぶ Word文書処理技能認定試験3級の合格に向けた学習							
授業の一般目標	Word文書処理技能認定試験（3級）の合格							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 officeソフト（Word）の使用方法を理解することができる。								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 検定試験合格に沿った技能を身に付けることができる。								
授業計画（全体）								
検定合格に向けて必要なスキルを身に付けてもらう								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	基本操作							
3～4	文書の編集と印刷							
5～6	文書の作成							
7～8	より詳細な機能を使用した文書の作成（表）							
9～10	文書の装飾（図形・画像など）							
11～12	問題演習							
13～14	検定試験問題の演習							
15	テスト							
成績評価方法								
1 授業態度								
2 発表、作品								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			40	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎						60	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	上原 佑真			実務経験紹介				

科目名	パソコンスキルⅡ	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	-			
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	officeソフト（Excel）の基本的な活用方法を学ぶ Excel表計算処理技能認定試験3級の合格に向けた学習							
授業の一般目標	Word文書処理技能認定試験（3級）の合格							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 officeソフト（Excel）の使用方法を理解することができる。								
☐ 思考・判断の観点								
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☒ 技能・表現の観点 検定試験合格に沿った技能を身に付けることができる。								
授業計画（全体）								
検定合格に向けて必要なスキルを身に付けてもらう								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1	基本操作							
2	データの編集							
3～4	表の編集							
5～6	グラフと図形の作成							
7～8	関数							
9～10	データベース機能							
11～12	問題演習							
13～14	検定試験問題の演習							
15	テスト							
成績評価方法								
1 授業態度								
2 発表・作品								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験							評価なし	秀、S（4）：90点以上
小テスト							評価なし	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート							評価なし	良、B（2）：70点以上
授業態度				◎			40	可、C（1）：60点以上
発表・作品	◎						60	不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	上原 佑真			実務経験紹介				

科目名	コミュニケーションスキル		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2025		
受講条件			開設時期	1前	教員実務経験対象	-		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	これから援助職を目指す上で重要なことは、職業人として必須であるソーシャルスキルのみならず、専門職としての「専門性」の一つとして、コミュニケーションスキルを身に着ける事である。 本科目ではソーシャルスキルに関する学びを土台とし、その上で人間、そして言葉を発しない命ある生き物に関わり支援する専門職として求められる、コミュニケーションスキル、ホスピタリティ力を効果的に習得できるよう授業を進める。							
授業の一般目標	1)職業人として求められるソーシャルスキルの重要性について理解する 2)援助職として求められるコミュニケーション能力・ホスピタリティ能力を習得する 3)人間・動植物等、命あるものの繋がりと尊厳について理解する 4)主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度を身に着ける							
受講条件	後期開講科目「コミュニケーションスキルⅡ」と連動していることに留意の事							
事前学習について(テキスト・参考書等)	テキスト等は使用せず、適時プリント等を配布する							
授業の到達目標								
■ 知識・理解の観点	1)ソーシャルスキルならびにコミュニケーションスキルの重要性について説明できる 2)専門職とコミュニケーションスキルとの関連について説明できる 3)コミュニケーションのポイントについて説明できる 4)命あるものの繋がりと尊厳について説明できる							
■ 思考・判断の観点	1)自己との関連性を踏まえ、コミュニケーションについて説明できる 2)自己が目指す職種におけるコミュニケーションスキルについて説明できる							
■ 関心・意欲の観点	1)学習仲間と積極的なコミュニケーション、合意形成を図ることができる 2)命あるものの繋がりを理解し、自己の生活に反映させることができる							
■ 態度の観点	1)学習仲間へベハツ業界従事専門職としてふさわしいホスピタリティを発揮できる 2)事象に対して自己の意見を表出するとともに、他者の意見を受容することができる							
■ 技能・表現の観点	1)学習場面において、ベハツ業界従事専門職としてふさわしいホスピタリティある双方向コミュニケーションができる 2)事象に対する自己の意見を要約し表現することができる							
授業計画(全体)								
1)職業人として求められるソーシャルスキルの重要性について講義を行う 2)援助職として求められるコミュニケーション力、ホスピタリティ力について、演習を通じた解説を行う 3)授業はグループワークを中心に行い、学習者が主体性を持って、他者と協働して学びを深める機会とする								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1・2	【アイスブレーキング:授業概要】 コミュニケーションプログラム体験・授業の全体像			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
3・4	【支援者と対象者】 対象者を「受け止め」「理解する」重要性			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
5・6	【コミュニケーションの原則】 コミュニケーションの原則			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
7・8	【ホスピタリティの構造】 存在認識とホスピタリティ			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
9・10	【ホスピタリティ表現の構造①】 ノンバーバルコミュニケーション①・メラビアンの数字			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
11・12	【ホスピタリティ表現の構造②】 ノンバーバルコミュニケーション②・伝える事、受け止める事			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
13・14	【ホスピタリティ表現の構造③】 バーバルコミュニケーション①・要点をとらえる・言語化・聴く			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
15・16	【ホスピタリティ表現の構造④】 コミュニケーション総合演習			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
17・18	【全体性とコミュニケーション】 周囲を見て動く・話題提供・合意形成			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
19・20	【個を知る①】 多様性の理解			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
21・22	【個を知る②】 プライベートゾーン・これまでの出会い			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
23・24	【自己を知る①】 思考習慣・ポジティブフィードバック			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
25・26	【自己を知る②】 自己開示			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
27・28	【アサーティブコミュニケーション】 意思を伝える・受け止める			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
29・30	期末試験							
成績評価方法								
次の1)～3)をもとに、総合的に評価する 1)授業態度(取り組み姿勢:演習含む) 2)授業終了後提出するミニツツペーパー(思考・判断・理解) 3)期末筆記試験(基礎知識・技能)								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50 %	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	◎	○					10 %	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			20 %	可、C（1）：60点以上
発表・作品							%	不可、E（0）：59点未満
演習			◎	○	○		20 %	未修得、履修放棄、F
出席			○				欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	澤谷 久美			実務経験紹介				

科目名	ビジネスマナーⅠ			単位数	1	科目コード		
授業形態	演習			時間数	30	開設期	2025	
受講条件				開設時期	1後	教員実務経験対象	有	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	社会人になる前に必要な心構えを理解し、社会人として相応しい言葉遣いを学び、コミュニケーションが取れるようにする。また電話対応の基礎的な技能が身につくよう指導する。							
授業の一般目標	ビジネスマナーと電話応対技能を身につける。							
受講条件								
事前学習について(テキスト・参考書等)	教本『実践ビジネスマナー』、学習プリント、電話応対機							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点		テキストや学習プリント教材の基本的な内容を読み取ることができる						
□ 思考・判断の観点		基本的な知識を元に、演習問題、ロールプレイングに柔軟に取り組む						
□ 関心・意欲の観点		マナーや電話応対などの技能の必要性を理解し、会得したいという気持ちが表れている						
□ 態度の観点		授業中に私語、居眠りをせず、積極的に取り組む姿勢を示す						
□ 技能・表現の観点		基本的な知識を元に、電話や来客、訪問などで適切な応対、接遇ができる						
授業計画(全体)								
教本『実践ビジネスマナー』を中心に、社会人としての基本的なマナーを理解身につけられるよう指導する。まずは2年生次に自信を持って就職活動に臨めるよう、とくにお辞儀のしかた、敬語の正しい使い方、電話応対に焦点を当てる。授業の始めと終わりのお辞儀を確実に行わせることとする。電話応対は電話応対機を用いて、一人ずつ個別に指導する。さらに訪問時のマナーとそれに伴う席次、名刺交換等の作法もその必然性と共に覚えさせる。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等				授業外学習の指示等		授業の記録	
1～2	第1章 社会人の心構え / 2章 基本動作							
3～4	第3章 言葉遣い(敬語の種類と使い分け)							
5～6	第3章 言葉遣い(間違いやすい敬語)							
7～8	第3章 言葉遣い(感じの良い言葉遣い)☑							
9～10	第5章 電話応対(電話の基本マナーと応対用語)							
11～12	第5章 電話応対(電話の受け方)							
13～14	第5章 電話応対(ロールプレイング:不在時の取り次ぎ)							
15～16	第5章 電話応対(ロールプレイング:不在時の取り次ぎ)							
17～18	第5章 電話応対(ロールプレイング:伝言をきく)							
19～20	第5章 電話応対(携帯電話のマナー)							
21～22	第6章 訪問のマナー(アポイントメントをとる)							
23～24	第6章 訪問のマナー(応接室にて)							
25～26	第6章 訪問のマナー(席次、名刺)							
27～28	期末試験							
29～30	試験ふり返り							
成績評価方法								
1 出席状況、授業中の姿勢								
2 学習プリントの記入内容が適切かどうか、文字は丁寧かどうか								
3 電話応対や面接のロールプレイング等、実技の取り組みの姿勢								
4 期末試験の得点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						60%	秀、S(4):90点以上
小テスト		○					10%	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○					10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○				5%	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習				○	◎		15%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	(公・財)日本電信電話ユーザ協会 電話応対技能検定指導者級保持者 (一・社)日本ホテルレストランサービス技能協会 食卓作法認定講師として、企業研修などに当たる。			

科目名	飼養管理学Ⅰ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬と猫について学ぶ。犬と猫の飼養管理について学び、人に説明できるようになる事を目的とする 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士２級							
授業の一般目標	犬猫の飼養管理について人に説明できるようになる							
受講条件	ペット総合学科１年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） パワーポイント、プリントなど							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	犬と猫が違う生き物であることを理解する							
☐ 思考・判断の観点	犬と猫の特徴を理解したうえで正しい飼養管理を検討できる							
☐ 関心・意欲の観点	実習に必要な基礎的内容を覚えて実施できる							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
犬と猫の違いから学び動物を扱う上で必要な知識を身に付ける。 動物に係わる仕事に就く者として適正飼養について学び、関わる事柄について学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	犬とは①							
3～4	犬とは②							
5～6	猫とは①							
7～8	猫とは②							
9～10	保定とバイタル							
11～12	薬剤と消毒							
13～14	薬浴							
15	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100	秀、S（４）：９０点以上 優、A（３）：８０点以上 良、B（２）：７０点以上 可、C（１）：６０点以上 不可、E（０）：５９点未満 未修得、履修放棄、F （ ）内はGPA点数
小テスト								
宿題授業外レポート								
授業態度								
発表・作品								
演習							評価なし	
出席							欠格条件	
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴１２年			

科目名	飼養管理学Ⅱ	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	ペットや動物業界に関わる内容について学ぶ。ペット業界について広い知識を持ち、説明できるようになる 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペット業界について興味を持つ							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） パワーポイント、VTR							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	愛玩動物から産業動物まで広い知見を身に付けている							
☐ 思考・判断の観点	愛玩動物に係わる正しい知識を身に付け人に説明できる							
☐ 関心・意欲の観点	愛玩動物に係わる現状に興味関心を持つ							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士取得に必要な知識をテキストやPowerPoint、関連VTRを用いて学んでゆく								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	犬の飼養管理							
3～4	猫の飼養管理							
5～6	愛玩動物の使用について							
7～8	社会における動物の役割							
9～10	適正飼養の推進							
11～12	動物福祉倫理							
13～14	産業実験動物の福祉							
15～16	危機管理と支援①							
17～18	危機管理と支援②							
19～20	動物愛護管理行政							
21～22	問題行動の予防①							
23～24	問題行動の予防①							
25～26	問題行動の予防②							
27～28	期末試験							
29～30	期末試験解答解説							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞		実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師				

科目名	ドッグトレーニング	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬のしつけ（実技）を学ぶ							
授業の一般目標	歩く、触るができるようにする							
受講条件	ペット総合学科1年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点 犬のしつけ、訓練について説明ができる								
☑ 思考・判断の観点 その犬に対してどのようなしつけ方法が合うかを考える事ができる								
☑ 関心・意欲の観点 犬の行動について理由を考えることができる								
☑ 態度の観点 どのような犬でも冷静に対処できる								
☑ 技能・表現の観点 自信をもってどのような性格の犬でもしつけできるようになる								
授業計画（全体）								
座学にて全体の流れ、犬の習性や本能について学んだあと、実際に犬を使って実技を行う								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	犬の本能について（座学）							
5～8	犬の習性について（座学）							
9～12	「歩く」練習 1							
13～16	「歩く」練習 2							
17～20	「歩く」練習 3							
21～24	「触る」練習 1							
25～28	「触る」練習 2							
29～32	実技試験							
成績評価方法								
1 単元末の実技試験								
2 授業態度や積極性								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○				◎		80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	○				◎		20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はG・P点数
担当教員	末岡 賢志			実務経験紹介	家庭犬訓練士 嘱託警察犬訓練士 ドッグスクールSue http://dogschoolsue.com/			

科目名	トリミング学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	トリミング座学、犬種ごとのカットを座学にて実施（テキストを用いる） 教員によるウィッグを用いた実演 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	トリミング犬種のカット手順が理解できている							
受講条件	ペット総合学科1年生であること							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	グルーミング犬種、トリミング犬種のカットが理解できている							
☐ 思考・判断の観点	トリミング実習にて担当犬のカットが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	自ら進んでノートを取ることが出来る							
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
グルーミング犬種やトリミング犬種について講義と実演を用いて展開していく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	基本（検体名称、骨格）道具の使い方							
3～4	ポメラニアン・チワワのカット							
5～6	トイ・プードルのカット							
7～8	ミニチュア・シュナウザーのカット							
9～10	マルチーズ・シーズーのカット							
11～12	ヨークシャーテリアのカット							
13～14	その他の犬種							
15	期末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎		◎				50%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○							優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○	○				50%	良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	動物形態機能学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物の形態機能を知り、動物医療を学ぶ上での基礎を構築する 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	犬猫の形態機能を知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書1（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の形態機能を知る								
☒ 思考・判断の観点 正常異常の判断ができる								
☒ 関心・意欲の観点 形態機能や生理機能について関心を持つ								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 高校の復習を行い、その後各臓器を学ぶ 小テストを入れながら知識の定着を図る								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	高校の生物の振り返り							
5～8	高校生物のまとめ							
9～12	感覚器（眼、耳、鼻、舌）							
13～16	呼吸器							
17～20	血液、リンパ、免疫①							
21～24	免疫②、肝臓①							
25～28	肝臓②、胆のう							
29～32	腎臓							
33～36	消化器系							
37～40	心臓							
41～44	神経系							
45～48	内分泌系							
49～52	歯、皮膚							
53～56	骨、筋肉							
57～60	単元末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介	なかの動物病院 https://nakanoah.info/			

科目名	動物臨床栄養学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物の食について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	ペットの食や栄養を知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の食事や栄養について知る								
☒ 思考・判断の観点 動物それぞれの必要な栄養素がわかる								
☒ 関心・意欲の観点 動物の栄養について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 五大栄養素について学び、犬と猫の栄養における相違点を学ぶ。BCSや給与法、おやつについても学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	栄養学総論							
3～4	栄養学各論 炭水化物							
5～6	栄養学各論 ミネラル、脂質1							
7～8	栄養学各論 脂質2、ビタミン							
9～10	栄養学各論 タンパク質							
11～12	犬と猫の食性の違い エネルギー1							
13～14	犬と猫の食性の違い エネルギー2							
15～16	ペットフード1							
17～18	ペットフード2 BCS							
19～20	食事の給与方法							
21～22	ライフステージ1							
23～24	ライフステージ2							
25～26	病態に応じた食事管理1							
27～28	病態に応じた食事管理2							
29～30	単元末テスト							
成績評価方法								
1 単元末試験 2 冬休みの課題 3 授業態度 4 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					80%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	◎			10%	可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介	なかの動物病院 https://nakanoah.info/			

科目名	動物感染症学	単位数	2	科目コード				
授業形態	講義	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	感染症を防ぎ治療するために病原体の種類や特徴、感染方法や特徴的な症状を知る 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	動物の感染症を正しく知る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物の感染症について知る								
☒ 思考・判断の観点 動物の感染症を見分けることができる								
☒ 関心・意欲の観点 動物の感染症について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がある								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める 基礎用語を学び、代表的な犬猫の感染症について学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～4	ガイダンス 総論1							
5～8	ガイダンス 総論2							
9～12	ウイルス各論							
13～16	細菌							
17～20	細菌							
21～24	真菌、リケツチャ							
25～28	ワクチンについて							
29～32	寄生虫とは何か							
33～36	糸虫							
37～40	吸虫							
41～44	原虫							
45～48	外部寄生虫症1							
49～52	外部寄生虫症2							
53～56	外部寄生虫症3							
57～60	単元末試験、解答解説							
成績評価方法								
1 単原末試験								
2 夏休みの課題								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					90%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート		○	◎	◎			10%	良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介	なかの動物病院 https://nakanoah.info/			

科目名	動物関連法規	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	動物に関わる法規、労働に関わる法規について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	動物に関わる法律についてわかる							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護の教科書2（緑書房）							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点 動物に関わる法律がわかる								
☒ 思考・判断の観点 ケースにあった法律がわかる								
☒ 関心・意欲の観点 法規について興味を持ち学ぶ								
☒ 態度の観点 積極的に学ぶ姿勢がる								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進めていく 法律の作られた理由や背景から学び、内容を学ぶ								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	法律とは							
3～4	動物愛護法1							
5～6	動物愛護法2							
7～8	動物愛護法3							
9～10	ワシントン条約、ラムサール条約							
11～12	絶滅危惧種について							
13～14	鳥獣保護法							
15～16	外来生物1							
17～18	外来生物2							
19～20	狂犬病予防法、身体障害者補助犬法							
21～22	薬機法、麻薬及び向精神薬取締法							
23～24	感染症法、家畜伝染病予防法							
25～26	獣医師法、獣医療法							
27～28	個人情報保護法、廃棄物処理法、労働基準法、労働安全法							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	岡田 純子			実務経験紹介	なかの動物病院 https://nakanoah.info/			

科目名	造形・美術	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	60	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 通年	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	・トリミングに活かせる立体・空間感覚を養う。 ・色彩の学習をとおして配色などの美的感覚を養う。 ・芸術作品の鑑賞をとおして美的教養を高める。							
授業の一般目標	造形美術に関する造詣を深める。							
受講条件	ペット総合学科 1 年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	主に自作資料による。							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	透視図法などを活用して立体物を描くことができる。色彩の基本的な知識を身に付ける。美術の歴史等について大まかな知識を身に付ける。							
☐ 思考・判断の観点	透視図法などを理解し作画に活かすことができる。不安定な形などに気づき修正することができる。							
☐ 関心・意欲の観点	身の回りの色彩や形体に興味をもち、積極的に観察しようとする。							
☐ 態度の観点	絵画や立体の制作や芸術作品の鑑賞などに積極的に取り組む。							
☐ 技能・表現の観点	透視図法などを活用して立体物を描くことができる。意図に応じた配色を工夫することができる。美術作品を鑑賞して感想・意見等をもつことができる。							
授業計画（全体）								
作図、作画、立体造形、工芸制作などを通して美的感覚、立体感覚、色彩感覚、鑑賞眼等を養う。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
①②	オリエンテーション、立体造形							
③④	透視図法、作図							
⑤⑥	絵画作品と透視図法							
⑦⑧	だ円と静物デッサン							
⑨⑩	グラデーションと陰影							
⑪⑫	絵画作品の鑑賞							
⑬⑭	工芸制作							
⑮	前期テスト							
⑯⑰	色彩、配色							
⑰⑱	針金彫刻							
⑲⑳	粘土彫刻							
㉑㉒	工芸制作							
㉒㉓	美術造形作品の鑑賞							
㉔㉕	犬のデッサン							
㉖㉗	猫のデッサン							
㉘㉙	動物のデッサン、学習のまとめ							
㉚	後期テスト							
成績評価方法								
1 毎回の作図作画の質 2 意欲・関心・態度 3 定期試験・レポートなど 4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	○	○			○		20%	秀、S（4）：90点以上
小テスト	○	○	○		○		10%	優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート	○	○		○	○		10%	良、B（2）：70点以上
授業態度			○	○		○	20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品	○	○	○		○		30%	不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席			○	○			10%	（ ）内はGPA点数
担当教員	須内 章雅			実務経験紹介	中学校美術科を35年指導 YICグループにて保育、デザイン科で美術・図工を5年指導			

科目名	トリミング実習Ⅰ	単位数	8	科目コード				
授業形態	演習	時間数	240	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	トリミング道具を正しく使える、犬を正しく扱える、先輩と合同でグルーミングが出来る							
授業の一般目標	グルーミングができる							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	グルーミングの必要性を理解している							
☐ 思考・判断の観点	犬種に合わせたグルーミングが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	さまざまな犬種に関心を持つ							
☐ 態度の観点	積極的に取り組める							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
道具の扱い方、生体の扱い方から指導を行い、犬も人間も安全に実習が行えることが大前提となる。基礎に重点を置き確実な指導を行っていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	道具の扱い方、実習の進め方							
3～5	AM：2年生とペアでグルーミング、PM：ハサミ練習							
6～10	AM：2年生とペアでグルーミング PM：ハサミ練習、試験							
11～15	AM：2年生とペアでグルーミング PM：ハサミ試験合格者より足回りカット							
16～20	AM：2年生とペアでグルーミング PM：グルーミング犬種のカット							
21～30	2人でグルーミング犬種ができる							
成績評価方法								
1 実習による総合的な評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	トリミング実習Ⅱ	単位数	8	科目コード				
授業形態	演習	時間数	240	開設期	2025			
受講条件		開設時期	1 後	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	トリミング道具を正しく使える、犬を正しく扱える、一人でグルーミングが出来る							
授業の一般目標	一人でグルーミング犬種が出来る							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	グルーミングの必要性を理解している							
☐ 思考・判断の観点	犬種に合わせたグルーミングが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	さまざまな犬種に関心を持つ							
☐ 態度の観点	積極的に取り組める							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
グルーミング犬種が仕上げられるようになることを目標とし、カット技術の向上を図っていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～10	2人または1人でグルーミング犬種を仕上げる							
11～20	2人でトリミング犬種をカットする							
21～30	1人または2人でトリミング犬種をカットする							
成績評価方法								
1 実習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	インターンシップ（選択）	単位数		科目コード				
授業形態		時間数		開設期				
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	企業に行き職業理解を深め、進路決定に役立てる							
授業の一般目標	職業体験を行う							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）								
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	企業実習を通してその職業を理解する							
☐ 思考・判断の観点	複数の職業を比較体験し、自身に合う進路を考えることが出来る							
☐ 関心・意欲の観点	ペット業界の仕事について関心を持つ							
☐ 態度の観点	誠意ある態度で実習に取り組む							
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
自ら起業を検索し、実習に挑む								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～30	インターンシップ							
成績評価方法								
1 実習先による評価								
2 出席日数								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員				実務経験紹介				

科目名	飼養管理学Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬猫以外の動物の飼養管理について学ぶ 犬猫の特別な栄養管理について学ぶ 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士２級							
授業の一般目標	犬や猫の飼養管理について正しく知る							
受講条件	ペット総合学科２年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物飼養管理士２級テキスト							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	犬猫以外の代表的な動物の飼養管理を知る							
☒ 思考・判断の観点	状況に応じた飼養管理を導き出すことが出来る							
☒ 関心・意欲の観点	犬猫以外の動物の飼養管理について興味を持つ							
☒ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士テキスト別冊を用いて犬猫以外の代表的なペットの品種や特徴、飼養管理などを学び理解を深めていく。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	ウサギの飼養管理①							
3～4	ウサギの飼養管理②							
5～6	ウサギの飼養管理③							
7～8	ハムスターの飼養管理①							
9～10	ハムスターの飼養管理②							
11～12	鳥類の飼養管理①							
13～14	鳥類の飼養管理②							
15～16	鳥類の飼養管理③							
17～18	カメの飼養管理①							
19～20	カメの飼養管理②							
21～22	特別療法食①							
23～24	特別療法食②							
25～26	特別療法食③							
27～28	期末試験							
29～30	期末試験解答解説							
成績評価方法								
1 期末試験								
2 授業態度								
3 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				80%	秀、S（４）：90点以上
小テスト								優、A（３）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（２）：70点以上
授業態度				○			20	可、C（１）：60点以上
発表・作品								不可、E（０）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師			

科目名	繁殖学	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 前	教員実務経験対象	有			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬や猫の繁殖生理について学ぶ。解剖学から新生児管理までを学ぶ。 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	犬と猫の生殖方法を知り、繁殖について知る							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師の教科書1（緑書房） プリント							
授業の到達目標								
□ 知識・理解の観点 犬や猫の繁殖生理を知る								
□ 思考・判断の観点 正常と異常を知る								
□ 関心・意欲の観点 犬や猫の繁殖に関心を持つ								
□ 態度の観点								
□ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
テキストを用いて進める。性の発生から解剖学を学び、繁殖を学ぶ。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	雄の生殖器の解剖（犬・猫）							
3～4	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
5～6	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
7～8	雌の生殖器の解剖（犬・猫）							
9～10	性に関するホルモンと発生							
11～12	確認テスト							
13～14	避妊去勢							
15～16	出産と新生児管理							
17～18	新生児保育と発達							
19～20	生殖器の疾患（雄）							
21～22	生殖器の疾患（雄）							
23～24	生殖器の疾患（雌）							
25～26	生殖器の疾患（雌）							
27～28	遺伝性疾患							
29～30	単元末試験							
成績評価方法								
1 単元末試験								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	◎	◎				100%	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習								未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年 愛玩動物看護師			

科目名	ペット検定対策Ⅱ	単位数	1	科目コード				
授業形態	講義	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2 後	教員実務経験対象	-			
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	現代のペット事情について学ぶ、愛玩動物飼養管理士を受験するうえで必要な事項について深く学んでいく。 目標検定試験：愛玩動物飼養管理士2級							
授業の一般目標	愛玩動物飼養管理士2級の合格							
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） 愛玩動物飼養管理士2級テキスト							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点		現代のペット事情やビジネスについて理解し人に説明できる						
☐ 思考・判断の観点		現代のペット事情について正しい判断をもとに行動できる						
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
愛玩動物飼養管理士2級								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	ペット共生の現状							
3～4	ペットツーリズム							
5～6	保護収容施設							
7～8	ペットの教育・訓練施設							
9～10	動物介在教育施設							
11～12	ペット飼育のマナー・事故							
13～14	ペット関連産業における職業倫理							
15～16	ペット飼育実態と市場規模							
17～18	ペット関連産業の現状と課題							
19～20	動物取扱業							
21～22	動物終末期（飼い主）ケア							
23～24	感染と予防							
25～26								
27～28								
29～30	期末試験							
成績評価方法								
1								
2出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				100	秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	引地 舞			実務経験紹介	動物病院勤務歴12年		愛玩動物看護師	

科目名	ペット検定対策Ⅲ	単位数		科目コード				
授業形態		時間数		開設期				
受講条件		開設時期		教員実務経験対象				
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	目標検定試験：愛玩動物飼養管理士２級							
授業の一般目標								
受講条件	ペット総合学科２年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻（エデュワードプレス） 愛玩動物飼養管理士２級テキスト、問題集							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点		愛玩動物飼養管理士２級の問題集が解ける						
☐ 思考・判断の観点		問題集の内容が理解できる						
☐ 関心・意欲の観点								
☐ 態度の観点								
☐ 技能・表現の観点								
授業計画（全体）								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
１～２	予想問題実施 解答解説							
３～４	予想問題実施 解答解説							
５～６	予想問題実施 解答解説							
７～８	予想問題実施 解答解説							
９～１０	予想問題実施 解答解説							
１１～１２	予想問題実施 解答解説							
１３～１４	予想問題実施 解答解説							
１５～１６	予想問題実施 解答解説							
１７～１８	予想問題実施 解答解説							
１９～２０	予想問題実施 解答解説							
２１～２２	予想問題実施 解答解説							
２３～２４	試験の心得 試験対策							
２５～２６	試験の心得 試験対策							
２７～２８	試験の心得 試験対策							
２９～３０	試験の心得 試験対策							
成績評価方法								
１								
２出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
３								
４								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○	○				100	秀、Ｓ（４）：９０点以上
小テスト								優、Ａ（３）：８０点以上
宿題授業外レポート								良、Ｂ（２）：７０点以上
授業態度								可、Ｃ（１）：６０点以上
発表・作品								不可、Ｅ（０）：５９点未満
演習							評価なし	未修得、履修放棄、Ｆ
出席							欠格条件	（ ）内はＧＰＡ点数
担当教員				実務経験紹介	動物病院勤務歴１２年 愛玩動物看護師			

科目名	高度トリミング実習Ⅰ			単位数	9	科目コード		
授業形態	演習			時間数	270	開設期	2025	
受講条件				開設時期	2 前	教員実務経験対象	有	
授業概要（目的、目標とする資格・検定等）	犬種や年齢、ライフスタイルなどに応じた様々なカットを理解し、実施できる。 検定：一般社団法人 全国動物専門学校協会（AAV）トリマー1級							
授業の一般目標								
受講条件	ペット総合学科2年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	JKC：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☒ 知識・理解の観点	犬種ごとのカットスタイルを理解している							
☒ 思考・判断の観点	個体に合わせたカット方法でカットができる							
☒ 関心・意欲の観点	様々な犬種に対して積極的である							
☒ 態度の観点	積極的に実習を行えている							
☒ 技能・表現の観点	個体に合わせたスタイルを考えることができる							
授業計画（全体）								
シャンプーなどの基礎的な準備作業から仕上げまでを1人または2人でこなす。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1～10	1人または2人でトリミング犬種のカットができる							
11～20	1人でトリミング犬種のカットができる							
20～30	1人でトリミング犬種を仕上げることができる							
30～34	1人または2人で複数頭の犬を仕上げるができる							
成績評価方法								
1 演習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度								可、C（1）：60点以上
発表・作品								不可、E（0）：59点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	高度トリミング実習Ⅱ		単位数	9	科目コード			
授業形態	演習		時間数	270	開設期	2025		
受講条件			開設時期	2 後	教員実務経験対象	有		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	犬種や年齢、ライフスタイルなどに応じた様々なカットを理解し、実施できる。 ペットクリップを習得する 検定：一般社団法人 全国動物専門学校協会（AAV）トリマー1 級							
授業の一般目標								
受講条件	ペット総合学科2 年生							
事前学習について（テキスト・参考書等）	J K C：最新ドッググルーミングマニュアル							
授業の到達目標								
☑ 知識・理解の観点	犬種ごとのカットスタイルを理解している							
☑ 思考・判断の観点	個体に合わせたカット方法でカットができる							
☑ 関心・意欲の観点	様々な犬種に対して積極的である							
☑ 態度の観点	積極的に実習を行えている							
☑ 技能・表現の観点	個体に合わせたスタイルを考えることができる							
授業計画（全体）								
シャンプーなどの基礎的な準備作業から仕上げまでを1 人でこなす。								
授業計画（授業単位）								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等			授業の記録	
1 ～ 3 4	1 人で複数頭の犬を仕上げるができる							
成績評価方法								
1 演習による評価								
2 出席が所定の回数に満たない者には単位を与えない								
3 シラバスの内容に即した実習ができていない場合は評価対象外とする								
4								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：9 0 点以上
小テスト								優、A（3）：8 0 点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：7 0 点以上
授業態度								可、C（1）：6 0 点以上
発表・作品								不可、E（0）：5 9 点未満
演習	◎	◎	◎	◎	◎		100%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	（ ）内はG P A 点数
担当教員	トリマー非常勤講師			実務経験紹介	サロンオーナー、店長経験者、トリミングサロン勤務経験者他			

科目名	ビジネスマナー	単位数	1	科目コード				
授業形態	演習	時間数	30	開設期	2025			
受講条件		開設時期	2前	教員実務経験対象	有			
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	就職活動に役立つよう、敬語を正しく使い、感じの良い音声表現ができるよう指導する。1年生次に学んだ電話応対のマナーを復習させ、必要な電話応対ができるようにさせる。文書通信のマナーを会得し常識的で基本的な通信ができるよう定型文や言葉づかいを理解させる。							
授業の一般目標	就職活動に必要な電話応対、文書の通信のマナーと基礎的な技能、社会人としてのビジネスマナーが身につける。							
受講条件	ペット総合学科1年生							
事前学習について(テキスト・参考書等)	教本『これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナー』、学習プリント、電話応対機							
授業の到達目標								
☐ 知識・理解の観点	テキストや学習プリント教材の基本的な内容を読み取ることができる							
☐ 思考・判断の観点	基本的な知識を元に、自分の言葉でその場に応じた表現することができる							
☐ 関心・意欲の観点	マナーや電話応対などの技能の必要性を理解し、会得したいという気持ちが表れている							
☐ 態度の観点	授業中に私語、居眠りをせず、積極的に取り組む姿勢を示すことができる							
☐ 技能・表現の観点	基本的な知識を元に、電話応対実践や模擬面接などで適切な応対、音声表現ができる							
授業計画(全体)								
1年次に履修した『実践ビジネスマナー』を前提にビジネスマナーを再度確認させる。『これだけは知っておきたい！面接対策&ビジネスマナー』の単元について講義し、就職採用面接の意義を理解し、面接の流れを把握し、応対の言葉を考え、就職面接に活かせるようにする。また、就職活動に必要な電話応対ができるよう、場面に応じたロールプレイングに取り組ませる。さらにメールや文書のマナーを学び、好ましい文書の通信ができるよう練習させる。また、卒業後の社会人生活で社外でも役立つ冠婚葬祭の基本的マナーも会得してもらう。講座最終日に学習範囲の試験を実施する。								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等		授業外学習の指示等		授業の記録			
1～2	第1部 IV電話応対(電話の基本、かけ方のマナー)							
3～4	第1部 IV電話応対(電話応対実践)							
5～6	第1部 IV電話応対(電話応対実践)							
7～8	第1部 IV電話応対(電話応対実践)							
9～10	第2部 VI企業訪問(企業訪問の意義とマナー)							
11～12	第2部 VII面接試験(面接試験の意義とながれ)							
13～14	第2部 VII面接試験(オンライン面接)							
15～16	第2部 VII面接試験(実践練習)							
17～18	巻末資料 ビジネス文書、礼状の書き方(礼状)							
19～20	巻末資料 ビジネス文書、礼状の書き方(内定後)							
21～22	巻末資料 ビジネス文書、礼状の書き方(辞退の際)							
23～24	招待状返信のマナー (披露宴に招かれたら)							
25～26	冠婚葬祭のマナー (金子包みのマナー)							
27～28	期末試験							
29～30	試験振り返り							
成績評価方法								
1 出席状況、授業中の姿勢								
2 学習プリントの記入内容が適切かどうか、文字は丁寧かどうか								
3 電話応対や面接のロールプレイング等、実技の取り組みの姿勢								
4 期末試験の得点								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎						60%	秀、S(4):90点以上
小テスト		○					10%	優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート		○					10%	良、B(2):70点以上
授業態度			○				5%	可、C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	不可、E(0):59点未満
演習				○	◎		15%	未修得、履修放棄、F
出席				○			欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	松原 淳子			実務経験紹介	(公・財)日本電信電話ユーザ協会 電話応対技能検定指導者級保持者、(一・社)日本ホテルレストランサービス技能協会 食卓作法認定講師として、企業研修などに当たる。			

科目名	ペット総合演習Ⅰ		単位数	1	科目コード			
授業形態	演習		時間数	30	開設期	2025		
受講条件			開設時期	2前	教員実務経験対象	0		
授業概要 （目的、目標とする資格・検定等）	これから動物業界において専門職を目指すにあたり重要な事は、資格・技術取得に留まらず、それらをどのように活かし、いかに実社会の中で社会貢献をしながら自分らしく生きていけるか、という事である。「ペット総合演習Ⅰ・Ⅱ」では社会的・職業的自立をし、実社会で生き抜くために必要な知識技術、求められる人間力を身に着けるとともに、各自が職業人としての自らの方向性を整理し、激しい社会変化の中で「どう生き」「どう働くか」について、具体的なプランを構築できるよう講義・演習・実習を進める。 当科目『ペット総合演習Ⅰ』においては、特に就業に関する知識・技術(自己理解・業界理解・応募書類・面接対策 等)を習得する事に力点を置き、講義・演習においてはオムニバス形式により、より多様な視座を得られるよう配慮する。							
授業の一般目標	1)動物業界において専門職としての就業を目指す上で、求められる事項について具体的に理解する 2)自らの意見を的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し自己の学びとして取り入れることのできるスキルを習得する 3)自己理解を深め、自らの行動特性、弱み、強み、自己課題について理解する 4)自らが望む生き方、働き方(キャリアアンカー)について理解する 5)今後の就職活動の流れを理解し、具体的行動に移す方法について理解する							
受講条件	後期開講の「ペット総合演習Ⅱ」と連動していることに留意すること。							
事前学習について(テキスト・参考書等)	テキスト等は使用せず、適時プリント等を配布する							
授業の到達目標								
■ 知識・理解の観点	1)自らの行動特性、弱み、強み、自己課題について説明できる 2)自らが望む生き方、働き方(キャリアアンカー)について説明できる 3)今後の就職活動の流れを理解し、具体的行動に移す方法について説明できる							
■ 思考・判断の観点	1)自らが望む生き方、働き方について、他者の意見を受け止めることができる 2)自己の就職活動計画について、他者の意見を受け止めることができる							
■ 関心・意欲の観点	1)学習仲間と積極的なコミュニケーション、合意形成を図ることができる 2)事象に対して、自己の意見表出、内省を行うことが出来る 3)他者の意見を積極的にとり入れようとし、自己の学びに繋げることができる							
■ 態度の観点	1)自己目標達成のための、継続的な行動計画を実行できる 2)自己理解を踏まえ、自己目標と関連する現場との関係性を構築できる							
□ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
1)本科目並びに連続科目である「ペット総合演習Ⅱ」全体を通じた、講義・実習内容の説明を行い、在学中のみならず今後の職業人生において、意識すべき事項について解説する 2)就職活動の3ステップ自己を総合的に振り返ることを通じ、自己の行動特性、強み、弱みを理解することが出来るよう演習を進める 3)自己を総合的に振り返ることを通じ、自己理解を深め、職業人としての生き方、働き方について目標を明確にできるよう演習を行う 4)今後の自らの就職活動の具体的プランを作成し、行動に移すことが出来るよう、講義・演習並びに助言を行う								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1・2	【就活概要】 科目概要と構成・就活3STEP・これ迄を振り返る・現状を知る・面談計画ほか			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
3・4	【自己理解(商品理解)①】 働く、その前に(就活STEP)・自己理解の構造 自己分析① ～働く目的と価値観～			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
5・6	【自己理解(商品理解)②】 自己分析② ～興味・関心・能力～			・本日の授業内容・資料の整理と復習 ・新聞に目を通し、新聞記事をスクラップすること				
7・8	【自己理解(商品理解)③】 ～キャリアアンカーとその表現(自己紹介文)～			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
9・10	【自己理解(商品理解)④】 ～自己PR ～ 強み・自己PR作成STEPほか			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
11・12	【自己理解(商品理解)⑤】 ～自己PR ～ 自己PRの作成			・本日の授業内容・資料の整理と復習 ・新聞に目を通し、新聞記事をスクラップすること				
13・14	【職業・企業研究(場の理解)①】 業界研究:ペット業界について・企業フォーラム活用について			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
15・16	【職業・企業研究(場の理解)②】 企業フォーラム① 職業理解(トリマー)			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
17・18	【職業・企業研究(場の理解)③】 職業理解(動物病院・ペットショップスタッフ等)			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
19・20	【書類作成・面接対策(売り込む)①】 応募活動の流れと応募書類(基本3点セット)・履歴書の書き方			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
21・22	【書類作成・面接対策(売り込む)②】 志望動機の書き方・履歴書作成・総合演習Ⅱ 概要説明			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
23・24	【書類作成・面接対策(売り込む)③④】 面接の方法・模擬面接(7人×3G)			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
25・26								
27・28	【書類作成・面接対策(売り込む)⑤】 個別面接			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
29・30	【総合演習Ⅱに向けて】 総合演習Ⅰまとめ・総合演習Ⅱ事前指導・個別面談等			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
成績評価方法								
次の1)～3)をもとに、総合的に評価する 1)授業態度ならびに授業内で提出する振り返りシートの内容(取り組み姿勢) 2)提出物(締切の厳守・レポート内容) 3)演習、発表の内容								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S（4）：90点以上
小テスト								優、A（3）：80点以上
宿題授業外レポート								良、B（2）：70点以上
授業態度	◎	○					20%	可、C（1）：60点以上
発表・作品			◎	○			30%	不可、E（0）：59点未満
演習			◎	◎			50%	未修得、履修放棄、F
出席							欠格条件	（ ）内はGPA点数
担当教員	澤谷 久美			実務経験紹介				

科目名	ペット総合演習Ⅱ		単位数	2	科目コード			
授業形態	演習		時間数	0	開設期	2025		
受講条件			開設時期	2後	教員実務経験対象	0		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	これから動物業界において専門職を目指すにあたり重要な事は、資格・技術取得に留まらず、それらをどのように活かし、いかに実社会の中で社会貢献をしながら自分らしく生きていけるか、という事である。「ペット総合演習Ⅰ・Ⅱ」では社会的・職業的自立をし、実社会で生き抜くために必要な知識技術、求められる人間力を身に着けるとともに個々が職業人としての自らの方向性を整理し、激しい社会変化の中で「どう生き」「どう働くか」について、具体的なプランを構築できるよう講義・演習・実習を進める。当科目『ペット総合演習Ⅱ』においては、『ペット総合演習Ⅰ』での学びを踏まえ、就職活動の一環として実際の動物に関わる現場においてインターンシップを行い、動物業界における専門職として求められる専門知識・技術、コミュニケーションスキル、思いやりの精神等を身に付け、自身が望む今後の進路に反映できるようにする事を目的とする。							
授業の一般目標	1)自らが望む生き方、働き方(キャリアアンカー)について理解し、それらを具体的に実現させるための方法を理解する 2)動物業界において専門職としての就業を目指す上で、求められる事項について具体的に理解する 3)自らの意見を的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し自己の学びとして取り入れることのできるスキルを習得する 4)自己理解を深め、行動特性、弱み、強み、自己課題について理解する 5)今後の就職活動の流れを理解し、具体的行動に移す方法について理解する							
受講条件	前期開講の「ペット総合演習Ⅰ」と連動していることに留意すること							
事前学習について(テキスト・参考書等)	テキスト等は使用せず、適時プリント等を配布する							
授業の到達目標								
■ 知識・理解の観点	1)自らの行動特性、弱み、強み、自己課題について説明できる 2)自らが望む生き方、働き方(キャリアアンカー)について説明できる 3)今後の就職活動の流れを理解し、具体的行動に移す方法について説明できる							
■ 思考・判断の観点	1)自らが望む生き方、働き方について、他者の意見を受け止めることができる 2)自己の就職活動計画について、他者の意見を受け止めることができる							
■ 関心・意欲の観点	1)インターンシップ先において積極的なコミュニケーション、合意形成を図ることができる 2)事象に対して、自己の意見表出、内省を行うことが出来る 3)他者の意見を積極的にとり入れようとし、自己の学びに繋げることができる							
■ 態度の観点	1)自己目標達成のための、継続的な行動計画を実行できる 2)自己理解/自己目標を踏まえ、現場との関係性を構築できる							
□ 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
1)前期「ペット総合演習Ⅰ」を踏まえ、本科目の内容説明を行うとともに、現場からの学びについて、演習を通じ解説する 2)インターンシップを通じ、自己を総合的に振り返り、行動特性、強み、弱みを理解することが出来るよう助言する 3)インターンシップを通じ自己理解を深め、職業人としての生き方、働き方について目標を明確にできるよう助言を行う 4)「ペット総合演習Ⅰ・Ⅱ」を総括し、今後の自らの就職活動の具体的プランを作成し、内定に繋げることが出来るよう助言を行う								
授業計画(授業単位)								
回数日付	授業項目・内容等			授業外学習の指示等		授業の記録		
1・2・3・4	【授業概要】 今後の授業の全体像・インターンシップのポイント・必要書類の確認			・本日の授業内容・資料の整理と復習				
5・6・7・8	【インターンシップ①】 動物関連企業等における現場実習			・インターンシップ中は毎日日誌を記入、振り返りを実施 ・適宜担当者へ相談、助言を受ける				
9・10・11・12	【インターンシップ②】 動物関連企業等における現場実習							
13・14・15・16	【インターンシップ③】 動物関連企業等における現場実習							
17・18・19・20	【インターンシップ④】 動物関連企業等における現場実習							
21・22・23・24	【インターンシップ⑤】 動物関連企業等における現場実習							
25・26・27・28	【インターンシップ⑥】 動物関連企業等における現場実習							
29・30・31・32	【中間発表】 現場実習中間振り返り			・振り返りと助言を踏まえ今後のインターンシップに活かす				
33・34・35・36	【インターンシップ⑦】 動物関連企業等における現場実習			・インターンシップ中は毎日日誌を記入、振り返りを実施 ・適宜担当者へ相談、助言を受ける				
37・38・39・40	【インターンシップ⑧】 動物関連企業等における現場実習							
41・42・43・44	【インターンシップ⑨】 動物関連企業等における現場実習							
45・46・47・48	【インターンシップ⑩】 動物関連企業等における現場実習							
49・50・51・52	【インターンシップ⑪】 動物関連企業等における現場実習							
53・54・55・56	【インターンシップ⑫】 動物関連企業等における現場実習							
57・58・59・60	【総括】 「ペット総合演習Ⅰ・Ⅱ」総括・自己課題とアクションプラン発表			・振り返りと助言を踏まえ今後の就職活動、企業実習に活かす				
成績評価方法								
次の1)～3)をもとに、総合的に評価する 1)実習態度ならびに授業内で提出する振り返りシートの内容(取り組み姿勢) 2)提出物(締切の厳守・レポート内容) 3)発表の内容								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								秀、S(4):90点以上
小テスト								優、A(3):80点以上
宿題授業外レポート								良、B(2):70点以上
授業態度							%	可、C(1):60点以上
発表・作品			◎	○			20%	不可、E(0):59点未満
演習			◎	◎			80%	未修得、履修放棄、F
出席			○				欠格条件	()内はGPA点数
担当教員	澤谷 久美			実務経験紹介				